

風光る

松岡隆子

臘梅の終りのころをよく晴れて

美しく生きて霞を逝かれけり

悼 金田きみ子さん

先生に椿見せむと逝かれしや

春暁の永久の眠りを惜しむかな

庭隅といふ沈丁の咲くところ

灯を消して沈丁の闇深くせり

飯蛸を嚙む海峡の灯をとほく

彼是と意味なきことをして春夜
而してをんなの齡木瓜紅し
三楹の考へ深く咲くことよ
駆けてゆく土手の何処までいぬふぐり
なほ続く道の遙かや風光る

「葉」創刊三周年

蘇芳集同人の金田きみ子さんが三月四日に逝去された。(七日粥齡しづかに深めつつ)。遺作となった三月号の作品七句の透明感に心に沁みる。「朝」埼玉支部長とし、また「朝」吟行会幹事として活躍されていた在りし日のお姿を偲び、心よりご冥福をお祈りする。

新型コロナウイルスの感染拡大が世界的な規模となったため、四月二十四日に予定されていた「葉」創刊三周年記念の集いは、開催を延期することになった。笑顔で集い合える日を待ちたい。